

「廃止条例」阻止、十分可能だ

大阪・市営地下鉄「民営化」

「世論多数に」と集会



民営化阻止の世論を多数にしようと開かれた集会＝14日、大阪市

を提案する方針です。よくする会の福井朗事務局長が、運動の到達点と今後の取り組み

と討論するなど一路民営化ではないとのべ、「予断は許さないが、私たちの運動によって『廃止条例』阻止の可能性は十分ある」と、民営化阻止に向けた行動を提起しました。日本共産党の山中智

子市議団幹事長が、議会論戦で明らかになった問題を報告し、「あきらめないで声をあげ、民営化を阻止しよう」と呼びかけました。討論で、日本共産党の胸井正男府書記長は「維新政治の国政や地

方政治での役割や正体を知らせるたたかいと民営化阻止のたたかいの両方を推進し、総選挙と2月議会が重なる可能性があるなか、悪政を許さない世論を大きく広げ、勝利を勝ち取ろう」と訴えました。

大阪市営地下鉄の民営化に向けた基本方針が市議会で成立したのを受けて、大阪市営交通の会と大阪市対策連絡会議、大阪市をよくする会は14日、大阪市内で「民営化反対の世論を多数に」と意思統一集会を開き、56人が参加しました。民営化には、市議会で2度否決されている廃止条例案（議会の3分の2以上の賛成が必要）の可決が必要で、吉村洋文市長は、来年2月議会に廃止条例案